

「尼崎の環境」について

1 「尼崎の環境」の概要

「尼崎の環境」は旧著である「公害の現状と対策」と合わせると 40 年以上の長い歴史を持つ毎年市が発行している書籍です。近年では、公害の現状だけではなく、地球温暖化対策、廃棄物対策及び自然環境の保全など幅広い環境に係る内容を扱っており、本市の環境情報についての総合的な報告書となっています。

2 「尼崎の環境」と「環境に関する行政計画の進捗管理」の歴史

(1) 「尼崎の環境」の歴史

本市の環境に関する報告書は、大気汚染が深刻化しつつあった昭和 32 年に市がとりまとめた大気質に関する調査結果（「尼崎市降下煤塵量」、「尼崎市に於ける大気汚染の調査研究」及び「空気汚染」）に端を発し、その後、大気質以外の水質や騒音などの環境質に関する調査結果等に加え、昭和 42 年に旧著の「公害の現状と対策」となりました。

その後も、環境質に関する情報の充実化を図るとともに、廃棄物、緑化、環境に関する啓発・広報及び健康被害補償制度等に加え、昭和 62 年からは「尼崎の環境」として発行しています。

(2) 「環境に関する行政計画の進捗管理」の歴史

本市でこれまでに策定された環境政策の基本的な考え方を示す計画では、施策の推進体制については記載がありますが、その進捗管理（PDCA サイクル）については、平成 26 年に策定された尼崎市環境基本計画までは明文化されていませんでした。

しかし、明文化されていないものの環境関連施策の進捗管理は行ってきました。「ローカルアジェンダ 21 あまがさき（平成 8 年策定）」では、取組状況を「環境保全に向けた施策の実施状況報告書」にとりまとめました。その後、尼崎市環境マネジメントシステムでも「尼崎市環境基本計画（平成 15 年策定）」の目標体系に基づく環境関連施策の進捗管理を行っており、「環境基本計画実施状況報告書」により、計画の取組状況を報告しています。

「尼崎の環境」

環境に係る行政計画・進捗管理

昭和 32 年

- ・「尼崎市降下煤塵量」、「尼崎市に於ける汚染の調査研究」「空気汚染」の発行
- ・当時、深刻な被害をもたらしていた大気汚染に関する調査結果が報告される。

昭和 33 年～昭和 41 年

- ・水質や騒音等の調査結果が加えられていく。

昭和 42 年

- ・「公害の現状と対策」の発行

昭和 62 年

- ・「尼崎の環境」の発行

平成元年～平成 25 年

- ・地球温暖化やオゾン層の破壊等の地球規模の課題についても触れられるとともに、各項目の内容の充実化が図られる。

昭和 48 年

- ・「尼崎市民の環境をまもる条例」の公布

平成 2 年

- ・「あまがさき快適環境プラン ★21 世紀のアメニティ豊かな都市に向けて★」の策定

平成 8 年

- ・「ローカルアジェンダ 21 あまがさき」（あまがさき快適環境プランの行動計画としての位置付け）の策定

平成 9 年

- ・「あまがさき快適環境プラン ～かけがえのない地球環境をまもるために～」の策定

平成 12 年

- ・「尼崎市の環境をまもる条例」の公布

平成 14 年

- ・「環境保全に向けた施策の実施状況報告書（平成 13 年度実績）」において、ローカルアジェンダ 21 あまがさきの施策体系に基づき、環境に関する事業・取組がまとめられ始める。

平成 15 年

- ・「尼崎市環境基本計画（環境と共生するまち あまがさきをめざして）」の策定

平成 17 年～平成 25 年

- ・「環境基本計画実施状況報告書」において、尼崎市環境基本計画の施策体系に基づき、環境に関する事業や取組がまとめられる。

平成 26 年

- ・「尼崎市環境基本計画～『ECO 未来都市 あまがさき』を目指して～」の策定



平成 27 年

- ・新たな「尼崎の環境」の発行（予定）（「尼崎の環境」と「環境基本計画実施状況報告書」を統合し、本市の環境の現状だけでなく、本市の環境に関する事業や取組についても併せて公表できるよう編集方法や構成の見直しを図った。）

3 「尼崎の環境」を取り巻く状況

(1) 現状

- ・本市の環境の状況については「尼崎の環境」において、環境関連施策の進捗については「環境基本計画実施状況報告書」において別々に取りまとめられていた。そのため、環境に関する取組や事業を行うことで環境の状況に変化が生じるという一連の流れがわかりづらい状態となっていました。
- ・平成 26 年 3 月に本審議会から尼崎市環境基本計画の策定について答申を受けており、その中で『「尼崎の環境」については、環境教育・学習のための基礎データとしての活用や環境への取組状況を公表・周知するために整理を行うこと』とされました。

(2) 新たな「尼崎の環境」について

新たな「尼崎の環境」については、これまでの「尼崎の環境」と「環境基本計画実施状況報告書」を統合し、尼崎市環境基本計画に定められている目標体系に基づき環境に関する取組や事業の概要とその実績を掲載するとともに、現状と課題について整理を行うこととしました。なお、内容について理解を深めるためのデータ等については資料編としてキーワードごとに整理を行いました。

4 「尼崎の環境 - 平成 26 年度版 - 」の位置付け

「尼崎の環境 - 平成 26 年度版 - 」は、平成 25 年度の環境に関する取組状況等が掲載されており、その内容は今年度から運用されている「尼崎市環境基本計画～ECO 未来都市 あまがさきをめざして～（平成 26 年 3 月策定）」の対象とはなっていません。しかしながら、新たな環境基本計画の運用前後での効果・成果を比較するためには、運用前の状況を整理しておく必要があるため、今回の「尼崎の環境」から、新たな環境基本計画の目標体系に基づき整理を行っています。